

情熱せいねん

<http://www.kokuro.jp>

第 15 号



国労西日本本部 青年部

情熱せいねん (国労西日本青年部 NEWS)

2010年9月8日発行

発行責任者： 強田 安昭

編集責任者： 西日本青年部

平和の集い開催！！

8月6日に広島と言えば、65年前に人類史上で初めて原子爆弾が落とされたことだとわかってもらえるかと思います。国労西日本青年部では、毎年8月5日・6日に広島ので平和の取組みを開催しております。

このとき、なにがおきたのか『ヒロシマの地』へ実際にいき、当時の状況（「日本の歴史」「国民の生活」「原子爆弾と広島」）について学び、「今ある私たちの平和を考えることをテーマ」に開催してきました。

平和について考える



本川小学校
(旧名:本川国民小学校)



江波山気象館

～被爆建物めぐり～ 8月5日（1日目）

広島市内に残る被爆建物を広島地方本部の清水青年部長の案内で見学しました。

爆心地に近い本川小学校や袋町小学校では被爆当時からある建物をそのまま資料館として使用、当時の状況を写真や絵・レプリカーなどで表現。また、被爆した戸枠や配電盤（地下室にある）は今でもそのまま保存され一般に公開されていました。旧日本銀行やアンデルセンでは建物の保存よいことで、現在も店舗として使用されていました。爆心地から3キロ以上離れた江波山気象館の一室では、熱線と爆風で曲がった窓枠や壁につき刺さったガラスが・・・現在もそのときの状況を鮮明に映し出されていました。今の平和がなぜあるのか考える貴重な時間となりました。



8月6日（2日目）～広島平和式典～

～国鉄原爆死没者慰霊典参加～

翌日は、晴天・猛暑となった広島では記念公園内で広島市平和記念式典が開催され、平和を願う多くの人たちが参列していました。・原爆が投下された8月6日の8時15分、平和の鐘が鳴り世界の平和を願う黙祷が行われた。場所を移し国労広島地方本部を中心に東白鳥公園内で開催された国鉄原爆死没者慰霊式典に参加しました。毎年このときに開催される式典です。原爆投下後、一日後に列車を走らせ広島の人たちを励ました国鉄労働者へ、“二度とこのような悲劇が繰り返されない”ことを願いながら黙

が行われた。この場では、国労西日本青年部は千羽鶴を慰霊碑に献鶴し、その後、碑文の群読を行いました。



ご協力ありがとうございました。

平和の願いが込められた千羽鶴は平和記念公園内、原爆の子の像付近、鶴納しました。

納めたのは、西日本本部青年部の西沢副部長です。

西日本本部青年部では、第4回平和の集い開催にあわせて、平和を願う千羽鶴の取り組みを、5月より職場・地域に広めてきました。

最初はできるか、できないかハッキリいってわかりませんでした。が、平和の思いが込められた鶴は、約3ヶ月間で1056羽を集約しました。思いが

広がっていることを実感した瞬間でした。

